	化研マテリアル営業推進部（UN・産廃・特販）ニュースレター	86号
2026.11月	**銀の汗　Again**	A面

次号 12月号で銀の汗最終号となります



都合12年ニュースレターを発行してまいりましたが、編集長、来春めでたく定年退職、そこで切り良く次号2026年12月号をもって「銀の汗」最終号となる事をお伝えさせて頂きます。
残り2幕となります。今後共、隅から隅までお引き立てを賜りますよう何卒宜しくお願い致します。

晴天10月繋忙期：営業推進部Go!Go!



杉村運輸倉庫(2,700㎡)



富岡シーサイドコーポ(1,100㎡)



加藤産業高谷センター(3,000㎡)



川島ひばり支援学校（2,500㎡）



特販インセンティブショー（タオル協力業者）



ライオンズガーデンテラス鎌倉山崎（1,300㎡）



産廃：廃液処理好調



特販：名入れペン・年賀タオルGoGo

2026年10月より、9月の雨でスケジュールがずれた現場や多くの新規現場の申込いただきました。廃液も好調。年末年始に向けたノベルティ商品も好調です（謝）。2026年も残すところ2ヶ月、ラストスパートで2026年を締めくくります。Go!Go!

プレイバック銀の汗（全国制覇へ）

累計全国29県でUNマシン施工あり、どの現場でも「ありがとう、助かったよ」の声を頂いています。初めて伺った青森県や五島列島をはじめ、年、数現場は伺う、愛知県、大阪府、など懐かしくプレイバック！

UNマシンで必要なドラム缶の材料を現場に運んでいただく運送協力業者様、材料供給メーカーの久喜工場の管理部の皆さん
UNマシンの部品供給また電気系統を教えていただく協力会社。産廃の中間処分業者様、廃液処理業者様、販売店での
UN勉強会等、中国工場から特販チームへ等々、ありがとうプレイバック　プレイバック！





2024.6　大阪市中央冷蔵UN



2020.3　初UN岩手県滝沢市UN



2022.7　初UN青森県北津軽郡



2023.6　初UN五島列島



2025.8　九州福岡県鞍手庁舎UN



2025.3　愛知県岡崎市UN



2024.5　岡山県の山陽学園UN



全国29県へUN拡販中

	化研マテリアル営業推進部（UN・産廃・特販）ニュースレター	86号
2026.11月	# 銀の汗　Again	B面

プレイバック銀の汗（関連各社様等）



2013.2　運送協力トーエー物流様と
AGC久喜工場配送管理担当者様



2016.4　現場納品ドライバー様



2013.7　東京塗装機・菊池電機等でメンテ



2015.4　コンクリ圧送事業団表敬訪問



2015.5　廃液処理日興化成工場見学訪問



2016.1　塗装機にて新マシン



2016.2　サラセーヌスクール参加



2016.6　開発部へ産廃セミナー開催



2016.7　ホパトリーダー会にてUN説明



2016.8　内定者UN説明会



2017..2　全ウレ研修会にてUN説明



2019.9　産廃処分場見学



2026.2　菊池電機様からテスター講習



2020.3　銀の汗ファンJCサプライ様



2023.7　CBM様UN勉強会



2023.11中国湖州市より特販へ来社

UNマシン.COMサイトが立ちあがりました　www.un-machine.com　yahoo検索ワード第1位（ウレタン・省力化など）
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています　銀の汗バックナンバーも掲載　UNマシン　にて検索

【sweat of silver】
平成13年ご縁があり化研マテリアルに入社し25年、当時から会社は売上が3倍以上、社員数も約3倍と業容が拡大しました。
上場企業におけるデーターで同条件に該当するのはわずか5%程で、日本全国360万社を考えると1%未満になると考えられます。（ジェミニにて）
その歴史の中では過去、全盛期のタイガージェットシンの反則や覆面剥ぎのような理不尽な出来事も多々ありステキでした。
ただ姿勢は常に前向き、前へ、前へ、と進んでいきました。気が付けば業績は多少のデコボコはあっても右肩上がりの基調で前へ進んでいます。
社員数200名迄の時は何となく全員を覚えているような感じでしたが、今は30%程しか顔と名前が一致しません。営業はコロナ禍よりフリーアドレスとなり現在も固定席がなくPC1台で活動しています。コンプラがどうのとか、ハラスメント講習がどうのとか、会社のステージが上がったのか、反則をしてはいけません、覆面を剥いではいけませんなど専門家の話を聞く機会が多くなり、これじゃ客が喜ぶ試合はできないな「皆さん、コンバンワ」とタイツに隠した、錆びたフォークを握りしめます。
トンチで有名な室町時代の禅僧、一休さん、その一休さんが亡くなる直前、弟子たちにこの先どうしても困った時、苦しい時に開けなさいと1通の手紙を託しました。数年後弟子たちが本当に困ったことがあって師匠の手紙を思い出し開封した所「心配するな、大丈夫何とかなる」と書いてあったそうです。
そう、大丈夫何とかなる！でやってきました。心配しても天が墜ちてくることはありません。そして引退するにあたって次世代に言いたいのは「皆さん、コンバンワ」ではなく「大丈夫、なんとかなる」です、自身人生の黄金期を迎えるにあたっても「大丈夫、なんとかなる」ですｳﾌ。
そう、皆様方と歩むこの業界も大丈夫！です、そしてこの日本も大丈夫！です。世界の中で咲き誇る日本になっていくことでしょう。
未来は明るい！皆で豊かに強くなっていきましょう。
次号が最終回となります。長い間ありがとうございました。



TEL 03-5860-9981　FAX 03-6206-1607